

广告

企画・制作：(株)読売広告西部

錆物用の無電離ニッケル  
めつばリヤー  
昨年10月には、日本のもの  
くり補助金を活用して、複  
雑な形状の錆物部材に高品  
質なケルムを作れる自動装置を開  
発し、本格稼働しました。  
開発した装置は、部材を直接  
溶接する方式で、複雑な形状の  
部材でも、製造が可能になりました。  
溶接の前処理として、溶接部  
で、あつさを溶液内で自動的  
に溶かす機能をもつて、溶接部  
を操作する、複雑な形にもお  
いにめつきが可能ですよ。ま  
た、自動化により高溫の  
めつき波を扱う作業の危険性  
も減らせました。

**環境保全整備に万全  
優良事業所に認定**

来年5月に創業  
超精密表面処理  
開発に挑戦

金属表面処理（めいしゃひめんしょり）  
は、家庭経営などでの多く、後継者難のため持ちます（じます）から、ハマ機といわれる人工作業（じんじょうぎょう）  
本製品（ほんせいひん）は、高度（こうど）な使われためが会社（かいしゃ）である仕事（しごと）で、我々（われわれ）が新しい技術（ぎじゅつ）を追求（しゅうしゅう）し続け

歩み

光洋金属防蝕の歩み

1969年 下松市松神町にて創業

1971年 法人化し商号を「株式会社光洋金属防蝕」

1985年 工場を現在地

（松戸市西豊井三谷屋）に 増設移転		技術の 進歩
1997年	めっき工場増設	めっき、業 者も自 由に選 べる新 しい成長
1999年	マスキング加工工場増設	
2000年	日立笠戸工場協同組合加盟	
2001年	精密部品部新規アライムア イテイド等半導 体を販 売する新 しい成長	
2003年	精密部品部用無電解 ニッケルめっきライン増設	
2004年	大型無電解 ニッケルめっきライン増設 チオチオタイン 電着塗装工場新設	迎えます。今後も時代のニード に応え、医療機器、航空機 業界等との競争も熾烈に人 れて、新しい競争構造面で処理 技術の開発に挑戦します。
2009年	デジタルマイクロスコープ 鏡微鏡導入、 品質管理強化	下 松市に開設する日立笠 戸ダブルアーチの鉄道車両から 当社専用車両、産業用プラ ット等の部材づくりを支え
2015年	大型電気鉛板工場つき (3箇所用)ライン新設 環境整備優良事業所に認定	や 地場企業 や関連企業 に寄り添 て、若しくは大 きな企業に にはなる中 小企業の基盤 を強化し、 企業の働きか たちを支援す ることも大きな おもてなしです。
2017年	熱処理用大型電気炉更新 大型無電解 ニッケルめっき槽増設 鉄鋳用無電解 ニッケルめっきライン増設 ・自動搬送機導入	

# 金属表面処理 めつぎ

光洋金属防蝕代表取締役 清見原 和則氏に聞く

「ソチNo.1を目指して

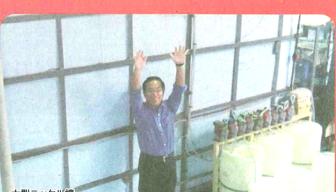
代表取締役  
清見原 和則氏

卷之三

機能を高める「めつき」  
「めつき」は、鉄など素材の  
表面をめつきの薄層で覆う  
技術である。被覆して  
美しくする装飾性「さら」に  
便用性を高める機能性が大きさ  
であります。「めつき」と  
書かれます。が、「鐵皮」と  
「鐵被」が常用漢字にないため  
「めつき」と表記される日本文  
語です。——(5)日本工芸技術  
協会(や学術団体「表面技術  
協議会」)は平仮名に統一して  
います。  
その歴史は長く、日本では  
東大寺の大仏に金をぬぎ、  
墨離薄で大仏に金をぬぎ、  
めつきが使われ、明治になる  
と「めつき」が工業化され  
ます。  
我が社は、カツオ漁が盛ん  
な高知県の釣り針製造業者  
に生まれた岡崎正男(故)

津 3  
一 な プ  
社 て お  
個 か  
要 が  
商 品  
チ ッ  
2 3  
る る  
備 に  
つ に  
無 電  
日 本  
設 高  
く く  
製 造

大型無電解ニッケルめっき品で業界No.1を目指す



表面処理でご期待に応えます

株式会社 光洋金属防蝕

下松市西豊井 1387-10  
TEL 0833-41-4233 FAX 0833-41-4269  
<http://kouyoukinzoku.sakura.ne.jp>